

とねおおぜき 利根大堰からの累計取水量が900億 m^3 を達成

利根川中流にある利根大堰（埼玉県行田市、群馬県邑楽郡千代田町）は、昭和43年4月の管理開始以降、ちょうど50年を迎える本年4月3日に累計取水量が900億 m^3 を達成しました。これは琵琶湖の約3.3杯分、東京ドームの約72,600杯分に相当します。

利根大堰から取水した水は、東京都及び埼玉県の約1,300万人の方々への水道用水、群馬県及び埼玉県の約23,300haの農地への農業用水、東京都及び埼玉県の工業用水、隅田川の浄化用水として利用されてきました。

利根大堰をはじめとする利根導水路では、現在、大規模地震対策のための工事に取り組んでおり、これまでの50年と同様、これからも安定して水をお届けできるよう努めて参ります。

※昭和43年当時の写真を含め、写真の提供が可能です。

平成30年4月4日



独立行政法人 水資源機構
利根導水総合事業所

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ	館林クラブ
さいたま市政記者クラブ	水資源記者クラブ
熊谷クラブ	竹芝記者クラブ
東京都庁記者クラブ	

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 利根導水総合事業所
総務課長 野村 達彦（のむら たつひこ）
住所：埼玉県行田市大字須加字船川369
電話：048（557）1501

<利根大堰の概要>



1 場所 埼玉県行田市
群馬県邑楽郡千代田町

2 堰の概要

型式 可動堰（12門）
最大取水量 毎秒約134m³
堰の長さ 692m

3 管理開始 昭和43年4月より（平成30年4月で50年）

4 目的

・水道用水・工業用水の取水

利根川の水を武蔵水路を通じて荒川へ導水し、東京都及び埼玉県へ都市用水を安定して供給するとともに、群馬県の都市用水の取水※に寄与

※群馬県の都市用水の取水は、利根大堰からの累計取水量900億m³の外数

・農業用水の取水

埼玉県及び群馬県の約23,300haの農地へ農業用水を安定して供給

・浄化用水の取水

利根川の水が豊富な時に隅田川へ浄化用水を通水

利根大堰からの累計取水量が 900 億 m³ を達成

平成30年4月3日に利根大堰からの累計取水量が900億 m³ を達成しました。

利根大堰は、首都圏の水需要の急激な増加と恒常的な渇水の解消等を目的に、東京オリンピックを控えた昭和38年に利根川水系の総合的な水資源開発計画の一環として、利根導水路建設事業として着手され、昭和43年3月に完成しました。

この事業によって、

- ① 利根川の水を武蔵水路を通じて荒川へ導水し、東京都及び埼玉県へ都市用水を安定して供給
- ② 埼玉県及び群馬県の約23,300haの農地へ農業用水を安定して供給
- ③ 利根川の水が豊富な時に隅田川へ浄化用水を通水することが可能になりました。

昭和43年4月の利根大堰での取水開始以来50年間、農業用水及び都市用水などの通水によって、高度経済成長を支え、首都圏の今日を築き上げる底力となってきました。

今後とも「安全で良質な水を安定的に安くお届けする」ことを第一に、安定した通水に努めて参ります。



水がささえる豊かな社会

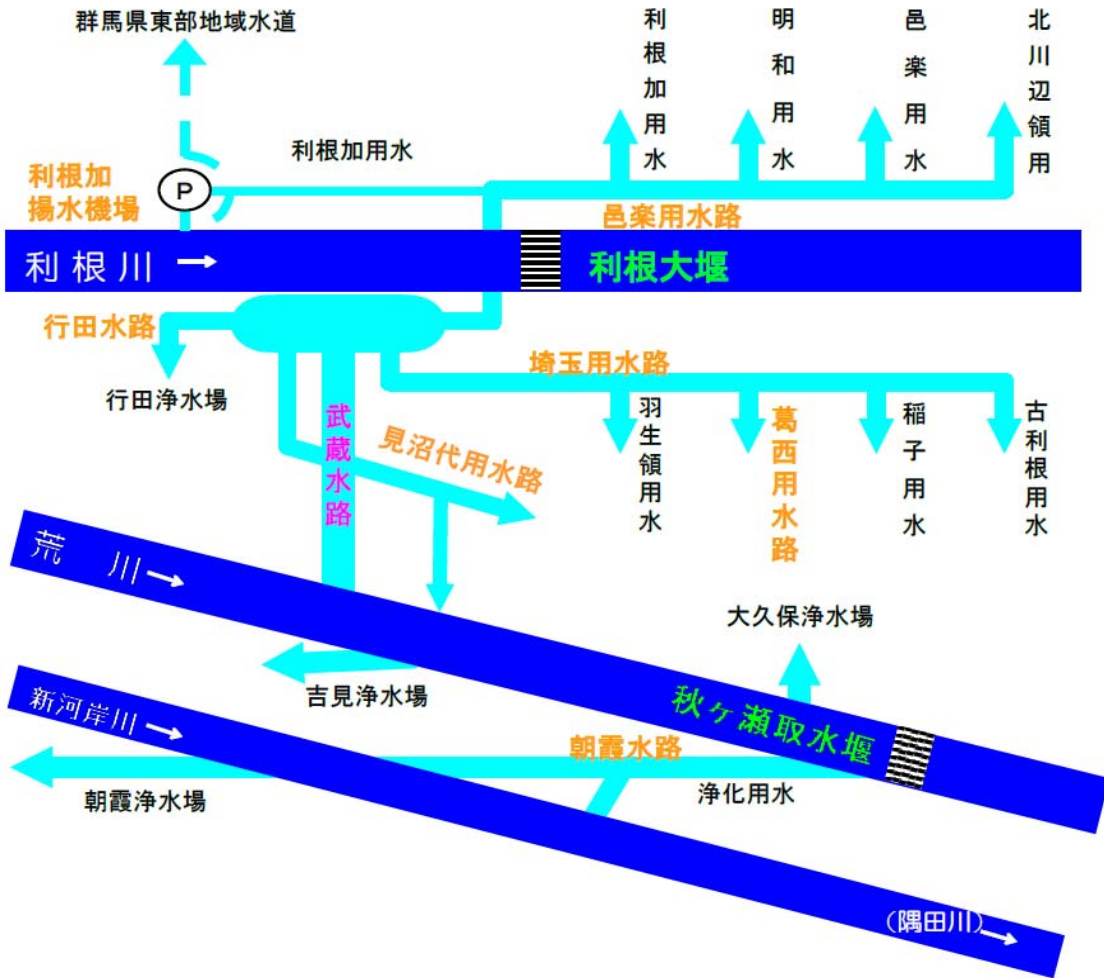


独立行政法人

水資源機構

利根導水総合事業所

利根導水路用水系統模式図



● 利根大堰からの累計取水量 ●

